

データ消去証明書

CERTIFICATE OF DATA ERASURE

株式会社サンプル 御中

当社は、貴社よりお預かりした下記の機器に搭載された記憶媒体について、貴社にご承認いただいた機器リストに基づき、データ消去を実施したことを証明いたします。

記

機器受領日	2026年10月6日
機器リスト承認日	2026年10月8日 本体・記憶媒体のシリアル番号を記載した機器リストを、貴社にオンラインでご承認いただいた日
消去実施期間	2026年10月9日 ~ 2026年10月14日
実施場所	株式会社REER JAPAN テクニカルセンター 〒343-0805 埼玉県越谷市神明町2-397-3
対象	機器 10 台（記憶媒体 11 台）
消去方法の内訳	ソフトウェア消去 9 台 物理破壊 2 台 物理破壊のうち1台は、ソフトウェアで消去できなかったため、貴社のご了承を得て切り替えたものです。
結果	記憶媒体 11 台すべて、消去を完了しました。
明細	別紙「消去明細」（2ページ目）のとおり

※ 記憶媒体ごとの消去前・消去後の写真、担当者、実施日時は、オンラインレポートでご確認いただけます。

※ 本証明書は、機器リストに記載された機器・記憶媒体についての証明です。リストにない媒体は含みません。

株式会社REER JAPAN

〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町4丁目289

TEL 048-940-0142

データ消去責任者 _____

社印

別紙 消去明細

記憶媒体ごとに1行。1台に複数の記憶媒体がある機器は枝番で表示

No.	資産番号	機器 メーカー・型番	本体シリアル	記憶媒体 種類・容量・シリアル	消去方法	実施日時 担当	結果
1	PC-0101	ノートPC メーカーA LB-5400	5CD000A1B2	SSD 256GB S4EV0000A01	ソフトウェア消去	10/09 10:12 担当 A	完了
2	PC-0102	ノートPC メーカーA LB-5400	5CD000A1B3	SSD 256GB S4EV0000A02	ソフトウェア消去	10/09 10:14 担当 A	完了
3-1	PC-0201	デスクトップPC メーカーB DT-7000	MJ0000C4D5	SSD 512GB S5GX0000B11	ソフトウェア消去	10/09 13:40 担当 B	完了
3-2	PC-0201	デスクトップPC メーカーB DT-7000	MJ0000C4D5	HDD 1TB WD-WCC0000B12	ソフトウェア消去	10/09 13:42 担当 B	完了
4	PC-0202	デスクトップPC メーカーB DT-7000	MJ0000C4D6	HDD 500GB WD-WCC0000B21	物理破壊 ソフトウェア消去不可 (読みエラー) → ご了承 のうえ物理破壊に切替	10/10 09:30 担当 B	完了
5	PC-0301	ノートPC メーカーC TP-L13	PF0000E7F8	SSD 256GB S6PN0000C01	ソフトウェア消去	10/10 11:05 担当 A	完了
6	PC-0302	ノートPC メーカーC TP-L13	PF0000E7F9	SSD 256GB S6PN0000C02	ソフトウェア消去	10/10 11:07 担当 A	完了
7	PC-0303	ノートPC メーカーC TP-L13	PF0000E7FA	SSD 256GB S6PN0000C03	ソフトウェア消去	10/10 11:09 担当 A	完了
8	PC-0401	ノートPC メーカーD LF-A577	R0000G1H2	HDD 500GB Z9A0000D01	ソフトウェア消去	10/13 14:20 担当 C	完了
9	PC-0402	ノートPC メーカーD LF-A577	R0000G1H3	HDD 500GB Z9A0000D02	ソフトウェア消去	10/13 14:24 担当 C	完了
10	SV-0001	サーバー メーカーE SV-R220	JP0000K5L6	HDD 2TB ZL20000E01	物理破壊 貴社のご指定による	10/14 10:00 担当 C	完了
合計：機器 10 台／記憶媒体 11 台					ソフトウェア消去 9 台・物理破壊 2 台		11 台完了

ソフトウェア消去 専用ソフトウェアによる消去。

資産番号 貴社の機器リストの管理番号。

物理破壊 記憶媒体を物理的に破壊。

写真 消去前・消去後の写真はオンラインレポートに記憶媒体ごとに保存。

受け取ったら確認していただきたいこと

- 台数が、お預けいただいた台数・貴社の台帳と一致しているか
- 本体と記憶媒体のシリアル番号が、ご承認いただいた機器リストと一致しているか
- 消去方法が、ご依頼の内容（ソフトウェア消去／物理破壊）どおりか。切替がある場合は備考を確認
- 証明書は、資産台帳から外した記録と一緒に保管